

学校便り

No.7

R6. 10. 1



大人はいろいろな経験や失敗も重ねているけれど…！

校長 内田 法子

10月は前期の終了、秋休みをはさんで後期のスタートと、前期を終えて充実感いっぱいの子供たちの気持ちがりセットされて、新たな学期への期待に胸を膨らませる、春のときのような、わくわく感に包まれる月です。

多くの行事が目白押しですので、そのわくわくした気持ちを大切にしながら子供たちが更に多くの学びを得ることができるよう、全教職員でサポートをしていきたいと思っています。

先日本校にいらしゃった国立特別支援教育総合研究所 統括研究員の井上秀和先生と校長室でお話をした際、多くの心に残るお話をしていただきましたが、その中でも、

「大人はいろいろな経験を積んだり、失敗を重ねたりしてきているので、次はこうしよう、といろいろと工夫したり失敗を回避したり、あるいは、自分にはこんなよさがある、と自己肯定感をしっかりともつことができるが、子供たちはまだ多くの経験や失敗をしていないし、これから積み重ねていくところなので、今の段階で自己理解とか自己肯定感を子供自身に求めるのは難しいこともある。」というお話が、特に心に響きました。

本校の研究では一人一人の子供たちが安心感をもって、そして居場所があって、という「居心地の良い学級や学校づくり」を目指しています。そのために学習や生活の場で、どの子にも理解しやすいよう工夫した取組を行っています。安心して学んだり過ごしたりできる環境に身を置くことで自己を見つめると共に、経験や失敗から得た知識を更に生かすことで自信が付き、今よりもっと自分のことを好きになれる子供に育ちます。

「次はこうやって失敗なく取り組んでみよう」「自分にはこんなよさがある」「だれかのために役に立ちたい」「今度はこれに挑戦してみよう。自分ならきっとできるはず!」と前を向いて一歩ずつ進んでいける大人に育てるために今、どのような支援や指導がその子にとって必要なのか、ということを改めて考えさせられるお話でした。

子育ての時期は初めてでわからないことも多く、不安に感じることもばかりです。(私もできることならもう一度、きちんと我が家の子供たちと向き合って、もっとちゃんと育児をし直したい、と思っています。) 忙しく、あっという間に過ぎ去ってしまう時期ですが、保護者の方や地域の方々と時には立ち止まり、子供のことを一緒に考え、目指す方向に向かってゆっくり歩んでいけたら、と考えています。

今月も本校の教育活動にご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

10月の行事予定

児童の安全確保の観点から、
ホームページでは掲載して
おりません。

お知らせ

☆児童の登校確認について

学校では朝の健康観察の段階で、ご家庭からの連絡がなく登校していない児童がみられる場合にはご家庭に電話連絡をし、安否の確認を行っています。登校途中の事件事故など不測の事態に対し早急に対応するためにも、緊急連絡先に電話をいたしますので、対応できるようお願いするとともに、遅刻・欠席をされる際には学校への連絡を欠かさずお願いいたします。

☆4年1組担任の復帰について

10月1日(火)より、教諭が育児休業から復帰いたします。4年1組の学級担任となりますので、よろしくお願いいたします。

～今月のあやめっ子の様子～

さくら学級
げんきキャンプ



【どろんこ遊び】



【野外炊飯】



五年一組
校外学習



【グリコピア CHIBA】



【清水公園】